

一、灰塚と云て村の東北三町四十一間にあり、方六間の壇なり、其謂を不知。

### 川

一、観音の御手洗村の西南二十六間にあり、御手洗水の側に清水あり、慶長年中大守景勝此所に至て鷹狩す。其清水を味て淡と云ふ、亦来人は是を景勝清水と名く、二水合て北に流て西北に行ことわづか五、六歩にして同郡館村の古川と合て、又北に流て姥川と云ふ。出尻村、台村、和泉村を経て鶴沼川に入る。此川に真鴨、小鴨、鴨時により住す。鮒、鮓、小雑喉、小海老あり。

一、村野原に青鷺、五位鷺、雀あり。

一、稲四十束を出し沼山村、大野村山に入て薪をきる。

一、村の北一里一町六十二間に瀧川有、此川稲川領との境也。

貞享二年書上げ

### 会津郡 田村山

一、若松より田舎道八里。

一、鎮守 住吉大明神、祭礼九月九日、宮下より社家来祭、当所の者社参而遊。

相殿 田村山大明神、十二神、八王神、稲荷、館村諏訪大明神、大神宮、荒神、中里村稲荷大明神二、白山権現、石原村大神。

一、会津三十三所順礼観音堂在、三間四面、萱葺、会日七月十七日、同十六日夕より村中近郷の者共寄合、会津唱、此別当真言宗

当村養泉院、巡礼十二番目と云札を納、歌に千早振神や誠の住吉や重ね重ねの森の七五三廻。

一、菩提所 真言宗養泉院、高二石三斗二升二合、御年貢諸役村中にて亦寄進す。

一、漆役 木数七本分、此代五百三十三文にて毎年上納す。

一、村の西に葭野一ヶ所有、此役葭廿把宛年々上納。

一、家職 繩、筥、吠、田畑稼の間に仕出申候。